

EN・GAWA21 折版仕様

標準施工要領書

日本パーミル株式会社

工法および使用材料

1、工法

積層構成		品名	使用料(kg/m ²)
第1層	プライマー層 (下塗り)	AIシーラー	0.05~0.2
第2層	主材	EN・GAWA21	0.3kg/m ² × 2回
第3層	上塗り (トップコート)	アドグリーンコート	0.15~0.2

特記仕様:フックボルト部補強

積層構成	品名	使用料(kg/m)
シーリング材充填	ボルトキャップヘポリウレタン シーリング材(ノンブリード)充填	適当量

2、使用材料

NO.	分類	品名	荷姿	性状
1		AIシーラー	15kg入石油缶	水系アクリルシーラー
2	主材	EN・GAWA21	12kg入石油缶	水系アクリルゴム
3	仕上げ材	アドグリーンコート	14kg入石油缶	水系アクリルシリコン

※フックボルトキャップは株式会社池田高分子社製「サビヤーズ」同等品を使用する

※ポリウレタンシーリング材は市販品を使用する(但し、ノンブリードタイプに限る)

3、工事施工要領

3-1 下地調整要領

・下地表面に水分がある場合フクレの原因となるので、充分乾燥していることを原則とする。

(1)ケレン

ワイヤーブラシ、スクレーパー、ケレン棒などを用いて、屋根表面、瓦棒部、フックボルト部等の錆及び浮き上がっている脆弱な既存塗膜層を完全に落とす(三種ケレン)

(2)洗淨

高圧洗淨機を用いて12～15MPaで洗淨を十分に行い、表面の油分、砂、埃等の汚れを除去する。

(3)防錆材塗布

ケレンが完了した発錆部にエポキシ系防錆材(市販品)を $0.15\text{kg}/\text{m}^2$ 塗布する。

(4)その他

下地に応じて監督員と協議の上、適切な処理を行う。

3-2 防水施工要領

(1)プライマー層塗布

AIシーラーを標準塗布量 $0.05\sim 0.2\text{kg}/\text{m}^2$ をローラー、刷毛またはエアレス機等により均一に下地に塗布する。(塗布直後、液だまりが残存すれば、薄く伸ばす)

●フックボルトキャップ処理【特記仕様】

ウレタンシーリング材(ノンブリードタイプ 市販品)をボルトキャップに充填し、フックボルトに被せる。はみ出たシーリング材はヘラにて均す。

(2)EN・GAWA21の塗布

高速攪拌機を用いて気泡を巻き込まないように攪拌する。

標準塗布量 $0.3\text{kg}/\text{m}^2$ を2回に分け、ローラー、刷毛またはエアレス機等により全面に均一に下地へ塗布する。

(3) トップコート塗布

アドグリーンコートは、分散形羽根式の高速攪拌機を用いて気泡を巻きこまないように攪拌する。

(一定の粘度になるまで)

標準塗布量 $0.15\sim 0.2\text{kg}/\text{m}^2$ をローラー、刷毛またはエアレス機等により均一に下地へ塗布する。

3-3 施工時の気象条件

折版屋根仕様に用する材は、エマルジョン樹脂であり、乾燥に際し気象条件に左右されるので下記の点を注意する。

(1) 施工時の天候

施工時に降雨のある場合、また直後で下地に水分がある場合は施工を中止する。

(2) 施工時の温度

施工時の温度は、原則として 5°C 以上とする。

(3) 施工時の予測

夜間の気温が氷点下になるおそれがある場合は午後3時頃までに作業を打ち切る。

以上